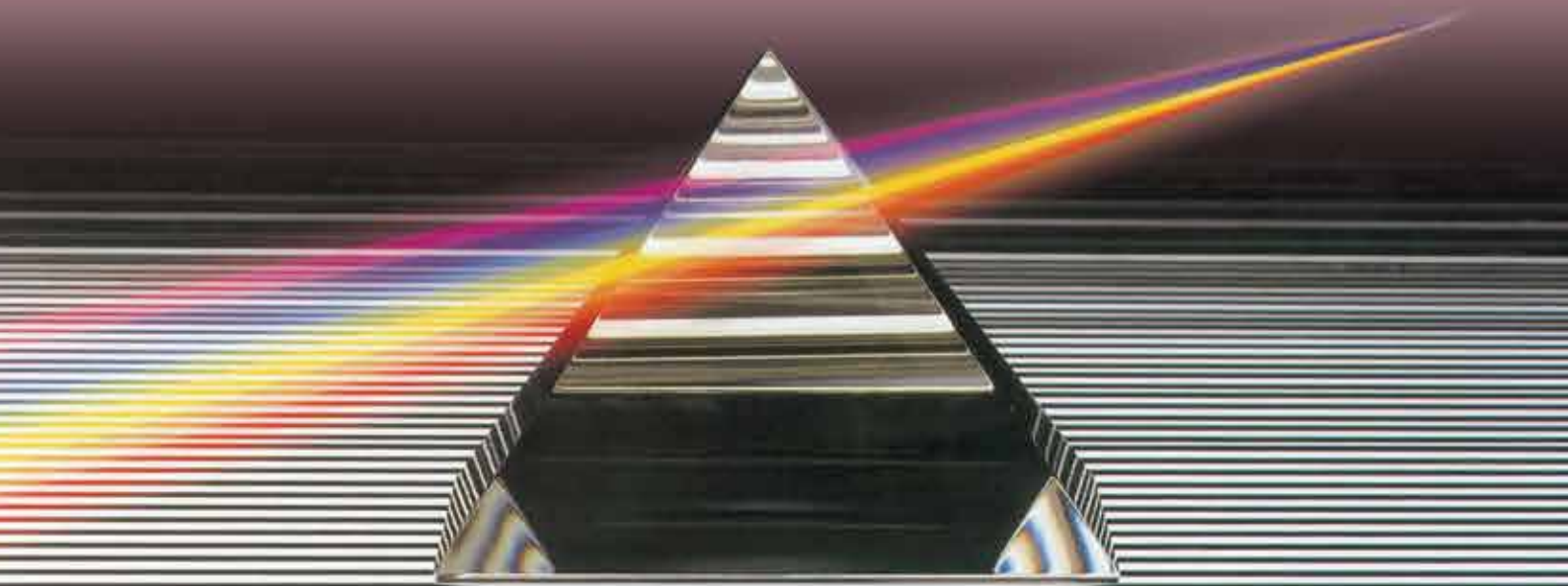
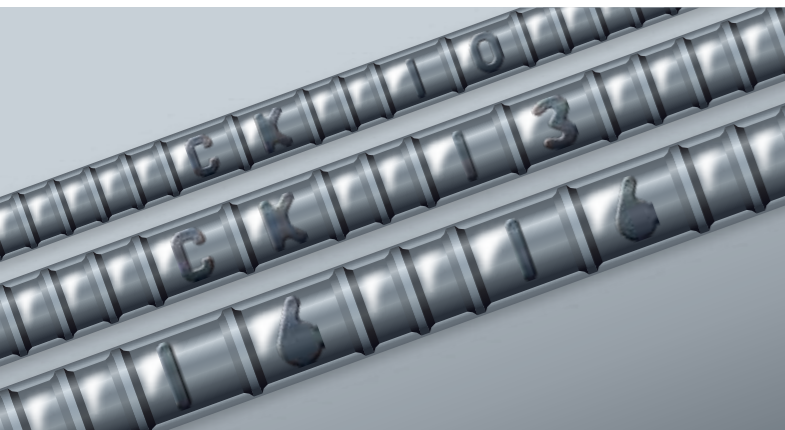


CHIYODA & TOKYO



千代田鋼鉄工業株式会社



東京都内唯一の鉄筋棒鋼製造ラインに課せられた使命。千代田鋼鉄工業が果たすべき役割と責任の一つであるインフラ貢献は重要性を増しています。2020年東京夏季スポーツ祭典に向けての公共インフラ整備事業への貢献にも大きな期待が寄せられており、製造・供給までを都内で完結し迅速に対応、環境負荷を軽減する物流面においても社会貢献を果たします。今後も都内唯一の鉄鋼棒鋼工場としての誇りと品位を持って前向きに事業に取り組み、より優れた価値を創造し、社会に貢献してまいります。





## 量から質へ、鉄に命をふきこむ千代田イズム。



千代田鋼鉄工業株式会社綾瀬工場は、最新の自動化設備を備え、高品質の鉄筋コンクリート用棒鋼を生産している日本工業規格表示許可工場です。鋼くずリサイクル企業として、現在大きく注目されています。



熔解精錬



電気炉



建屋集塵装置



最先端設備と高度な技術&ノウハウが  
品質のレベルアップを実現。



鉄筋コンクリート用棒鋼は、鉄スクラップを主原料とし、各種の副資材を加え、電気炉による熔解・精錬と連続鋳造機による造塊、加熱炉・圧延設備による熱間圧延によって製造されます。

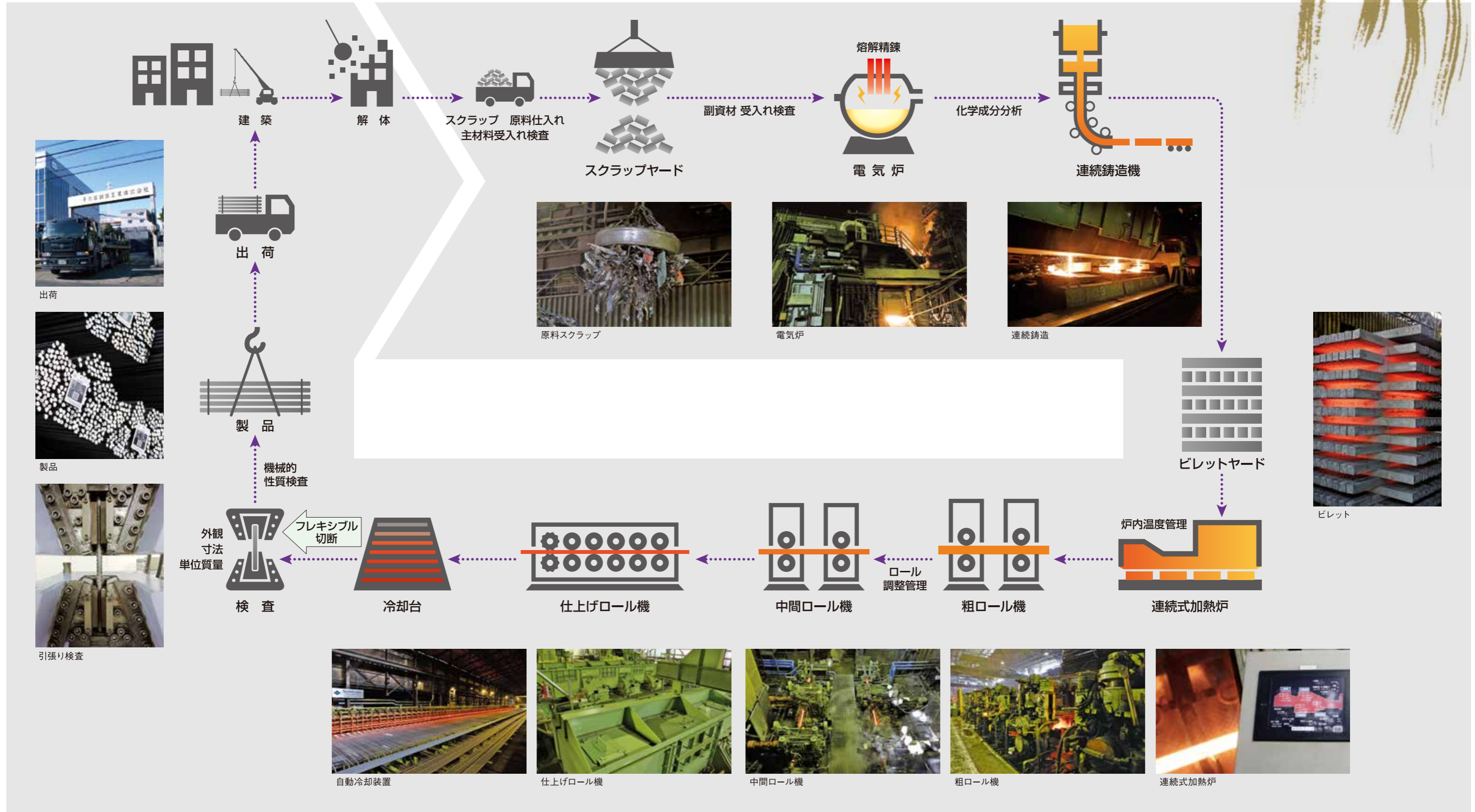


圧延中央操作室



連鋳鋳込み作業

原料から生産まで、一貫した管理システムで皆様の信頼にお応えします。



技術の千代田が誇るCKブランド。多方面で活躍する異形棒鋼。



綾瀬工場で生産される製品は、高品質の異形棒鋼です。すべての製品には、千代田鋼鉄工業のCKマークと、製品の種類を表わす突起状のマークがつけられています。



●異形棒鋼 規格 (例: SD295)

D10



D13



D16



●日本工業規格表示許可

名称	区分	種類の記号	メタルタグ	ロールマーク (例: D13)
鉄筋コンクリート用棒鋼 (JIS G 3112)	異形棒鋼	SD295	<p>白</p>	<p>CK 13</p>
		SD345	<p>黄</p>	<p>CK 13・</p>
		SD390	<p>緑</p>	<p>CK 13・・</p>
		SD490	<p>青</p>	<p>CK 13・・・</p>

## JIS表示許可が証明する優れた品質と厳しい品質管理。

品質の安定供給と、より優れた製品づくりのために  
当社では厳しい管理システムを採用。  
各製造工程では、  
化学成分検査、形状・寸法検査、機械的性質検査など、  
あらゆるチェックがなされています。



JISマークG3112認証取得  
認証番号：QA0308016



ISO 9001認証取得  
登録番号：3331

## 循環型社会に対応した、環境負荷の少ない製品を提供。

住宅地に隣接する綾瀬工場では、  
環境保護と地球環境に  
優しい企業活動を実践するため、  
環境マネジメントシステム「ISO14001」の  
認証を取得。  
継続的な環境活動への取り組みを通じて、  
地域社会と共に歩む製造環境を  
目指しております。



ISO 14001認証取得  
登録番号：E2060



### ● JIS規格

化学成分								
名称	区分	種類の記号	化学成分 (%)					
			C	Si	Mn	P	S	炭素当量
鉄筋コンクリート用 棒鋼 (JIS G 3112)	異形 棒鋼	SD295	0.27以下	0.55以下	1.50以下	0.050以下	0.050以下	—
		SD345	0.27以下	0.55以下	1.60以下	0.040以下	0.040以下	0.60以下
		SD390	0.29以下	0.55以下	1.80以下	0.040以下	0.040以下	0.65以下
		SD490	0.32以下	0.55以下	1.80以下	0.040以下	0.040以下	0.70以下

機械的性質									
名称	区分	種類の記号	引張試験				曲げ試験		
			降伏点又は 耐力 (N/mm <sup>2</sup> )	引張強さ (N/mm <sup>2</sup> )	降伏比 (%)	試験片	伸び (%)	曲げ角度	内側半径
鉄筋コンクリート用 棒鋼 (JIS G 3112)	異形 棒鋼	SD295	295以上	440~600	—	2号に 準じるもの	16以上	180°	公称直径の1.5倍
		SD345	345~440	490以上	80以下		18以上		公称直径の1.5倍
		SD390	390~510	560以上	80以下		16以上		公称直径の2.5倍
		SD490	490~625	620以上	80以下		12以上	90°	公称直径の2.0倍

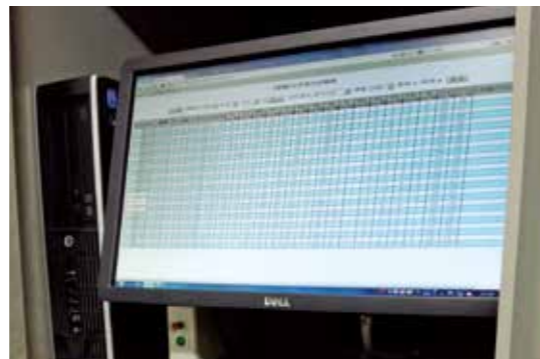
異形棒鋼の寸法、質量及び節の許容限度								
呼び名	公称直径 (mm)	公称周長 (mm)	公称断面積 (mm <sup>2</sup> )	単位質量 (kg/m)	節の平均間隔 の最大値 (mm)	節の高さ		節のすき間の 和の最大値 (mm)
						最小値 (mm)	最大値 (mm)	
D10	9.53	29.9	71.33	0.560	6.7	0.4	0.8	7.5
D13	12.7	39.9	126.7	0.995	8.9	0.5	1.0	10.0
D16	15.9	50.0	198.6	1.56	11.1	0.7	1.4	12.5

長さの許容差	
長さ	許容差
7m以下	+40mm 0
7mを超えるもの	長さ1m又は端数を増すごとに、上記プラス側の許容差に更に5mmを加える。ただし、最大値は120mmにとどめる。

1本の質量許容量	
呼び名	許容差 (%)
D10	±6
D13	±6
D16	±5



化学分析室



化学成分検査



機械試験室



引張り検査



## 沿革

1948年(昭和23年) 6月		葛飾区堀切町791番地に千代田工業所を設立し、亜鉛鉄板の製造販売を開始する。
1949年(昭和24年) 6月		資本金400,000円を以って株式会社とし、千代田亜鉛工業株式会社と改称、本社を中央区日本橋江戸橋1-4に置く。
10月		亜鉛鉄板の需要拡大にともない、工場を綾瀬に移転し、月産1,500トンの製造を行う。
1960年(昭和35年) 1月	綾瀬	5トン電気炉から20トンに増設。鉄鋼塊月産4,500トンを製造し、鋼塊の外販量の増加をはかる。
1961年(昭和36年) 12月	綾瀬	亜鉛鉄板(JIS G 3302)のJIS表示許可工場となる。
1966年(昭和41年) 8月	綾瀬	鉄筋コンクリート用棒鋼(JIS G 3112)の熱間圧延棒鋼1種2種、熱間圧延異形棒鋼1種2種3種のJIS表示許可工場となる。
1968年(昭和43年) 12月	市川	千葉県市川市高谷東浜2022番地に市川工場を建設し、切板用連続両面塗装のカラー鋼板の製造を開始。大洋製鋼㈱の受託工場となる。月産能力2,000トン。
1970年(昭和45年) 10月	市川	亜鉛鉄板製造設備2基を新設する(東京工場より亜鉛鉄板部門の移転完了する)。
1971年(昭和46年) 1月	綾瀬	40トン電気炉を増設、月産10,000トンを製造し、棒鋼販売の増加をはかる。
1974年(昭和49年) 4月	OK	社名を千代田鋼鉄工業株式会社に改称する。
1975年(昭和50年) 4月	綾瀬	鉄筋コンクリート用棒鋼(JIS G 3112)の熱間圧延異形棒鋼4種のJIS表示許可工場となる。
1977年(昭和52年) 10月	市川	新市川工場を竣工(現市川工場)。工場移転。連続塗装焼付設備(NO.1 CCL)を建設(月産能力5,000トン)。
1980年(昭和55年) 1月	市川	塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312)の日本工業規格表示許可工場となる。
1989年(平成1年) 11月	綾瀬	鉄筋棒鋼のせん断補強鉄筋用“チヨダフープ”の開発を行い、(株)日本建築センターの継手A級評価を取得する。
1990年(平成2年) 1月	綾瀬	フリッカー設備を(15,000KVA)設置する。加熱炉をサイドプッシャー方式に改造する。精整ラインをリプレースする。



1992年(平成4年) 4月	市川	長尺金属成形瓦“フィンルーフ”製造販売開始。関東通商産業局長よりエネルギー管理優良工場通商産業局長賞を受賞。
11月	綾瀬	工業標準化優良工場として関東通商産業局長賞受賞。
1996年(平成8年) 10月	綾瀬	リサイクル推進への貢献が認められリサイクル推進協議会会長賞受賞。
1997年(平成9年) 5月	市川	カラーラインの焼付設備の燃料を重油からLNGへ変更。20年保証フッ素カラー鋼板の製造販売を開始。
2002年(平成14年) 9月	綾瀬	建屋集塵装置(6,000Nm <sup>3</sup> /min)を設置する。
2004年(平成16年) 2月	綾瀬	圧延工場の重油燃焼装置をガス化する。
2006年(平成18年) 1月	綾瀬	製鋼工場の重油燃焼装置をガス化する。
2月	市川	塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3322)日本工業規格を追加認定される。
10月	市川	「大柄ちぢみカラー『輝き』」の製造販売開始。
2007年(平成19年) 1月	CRIVODA	本社事務所を新築する。東京都足立区綾瀬6-10-6。
2月	綾瀬	日本検査キューエイ㈱よりISO9001を取得する。
2008年(平成20年) 1月	綾瀬	圧延精整装置を更新する。
3月	市川	塗装溶融亜鉛めっき鋼板の新JIS表示認証を日本検査キューエイ㈱より取得。
5月	綾瀬	直引・建屋合流集塵装置(7,000Nm <sup>3</sup> /min)を増設する。
6月	綾瀬	日本検査キューエイ㈱より新JISマーク表示制度認証を取得する。
10月	市川	「チヨダカラー、ストロングカラー『NEXT』」の製造販売開始。
2009年(平成21年) 1月	綾瀬	圧延冷却床装置を全面更新する。
3月	綾瀬	韓国KS規格(KS D 3504)認証を取得する。
12月	綾瀬	日本検査キューエイ㈱よりISO14001を取得する。
2010年(平成22年) 4月	市川	着色亜鉛鉄板、日本検査キューエイ㈱よりISO9001を取得する。
2012年(平成24年) 1月	市川	カラーラインの電気設備全面更新。
2013年(平成25年) 5月	市川	「ストロングカラーV3」の製造販売開始。
7月	綾瀬	放射線量検出装置を設置。
2014年(平成26年) 1月	綾瀬	圧延工場に仕上げ6連ブロックミルを導入。
2016年(平成28年) 5月	市川	エンボスロール設置。
2017年(平成29年) 3月	綾瀬	SD490(JIS G 3112)追加認証を受ける。
3月	市川	クロメートフリーカラーのJIS表示制度追加認証取得。
8月	市川	大型スリッター加工設備設置。
2018年(平成30年) 10月	流山	千葉県流山市芝崎252に流山センターを開設。

## 会社概要

会社名	千代田鋼鉄工業株式会社
代表者名	代表取締役社長 坂田 基歩
資本金	60,000,000円
売上高	200億円
従業員	170名
設立	昭和23年6月
所在地	【本社・綾瀬工場】東京都足立区綾瀬6丁目10番6号 【市川工場】千葉県市川市高谷1920番地 【流山センター】千葉県流山市芝崎254-1

本社事務所外観



電話 03-3605-2121 (代表) FAX 03-3628-6620 (代表)  
電話 047-327-1571 (代表) FAX 047-328-4774  
電話 0471-78-7900 (代表)

### 綾瀬工場 棒鋼事業



綾瀬工場全景

■生産能力/月産40,000トン

【営業品目】  
●鉄筋コンクリート用棒鋼  
○国内(JIS G 3112)  
鋼種:SD295A SD295B SD345 SD390 SD490  
呼び名:D10、D13、D16  
長さ:3.5m~12.0m  
○海外(KS、ASTM、CSA)  
鋼種:SD400/SD500(KS)、G40/G60(ASTM)、G400W(CSA)  
呼び名:D10(3#)、10M、D13(4#)、D16(5#)  
長さ:3.5m~12.0m、20ft(6.096m)~40ft(12.192m)

### 市川工場 カラー鋼板事業



市川工場全景

■生産能力/月産5,000トン

【機械設備】  
●カラー鋼板塗装焼付設備 1基5,000t/月  
●大型スリッターライン/1基  
●成形加工設備(長尺金属成形瓦、横葺金属屋根、各種波板)  
○長尺金属成形瓦/2基  
○横葺金属屋根成形設備/2基  
○エンボス機/1機  
○波付製造設備/4基  
○定尺自動切断巻取機/1基  
○スリッターライン/1基

### 流山センター カラー鋼板、成形加工品 物流中継



流山センター外観

【営業品目】  
●製品ヤード、成形加工

【機械設備】  
●折板ラミネーターライン1基(熱融着タイプ)  
○折板成形機/88型、150型、66型、ハゼⅡ型  
○角波成形機/W800  
●立平成形ライン/1基(ホットメルト)  
○立平成形機(333、455)





# 千代田鋼鉄工業株式会社

<https://www.chiyoda-steel.co.jp/>

本 社 東京都足立区綾瀬6丁目10番6号  
TEL (03) 3605-2191 (代表)  
綾瀬工場 東京都足立区綾瀬6丁目10番6号  
TEL (03) 3605-2121 (代表)  
市川工場 千葉県市川市高谷1920番地  
TEL (047) 327-1571 (代表)

